

今もそこに在る

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ

大地の力

Black Spiritus

田淵安一《蝕と大地》1956年 北九州市立美術館

2021年

9月18日(土) → 12月12日(日)

久留米市美術館 本館2階

■主催:久留米市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本 ■特別助成:公益財団法人石橋財団 ■後援:久留米市教育委員会



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER



公益財団法人
石橋財団
Ishibashi Foundation

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ

大地の力

Black Spiritus

明治の洋画界をリードしたのは黒田清輝や藤島武二ら多数の九州出身の画家たちでした。そのため九州における油絵の展開は、どうしても日本の美術史と重ねて考えられます。しかし、福岡の八女で制作を続けた坂本繁二郎はじめ、土地に寄り添い続けた坂本善三や宇治山哲平ほか、固有の風土や文化、また、近代産業化の記憶をどこかに宿した表現が、私たちの心を捉えてきたことも事実です。開館記念展につづく、この「九州洋画」第二弾では、黒田たち白馬会が距離をとった褐色、黒という色彩や、ざらざらとした土の質感を手がかりに、大地の持つ内発的なエネルギーを感じさせる作品を現代まで紹介することで、力強く魅力的な九州の洋画の系譜を辿ります。



吉村益信《菜の花畑》1974年 大分市美術館

- 開館時間／10:00-17:00(入館は16:30まで)
- 休館日／月曜日(ただし、9月20日は開館)
- 入場料／一般1,000円(800円) シニア700円(500円)
大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上。
 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額となります。
 ※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。
 ※11月3日の文化の日と11月19日の開館記念日は入館無料。

没後70年

南 薫造

2021年7月3日(土)～8月29日(日)

久留米市美術館 本館2階

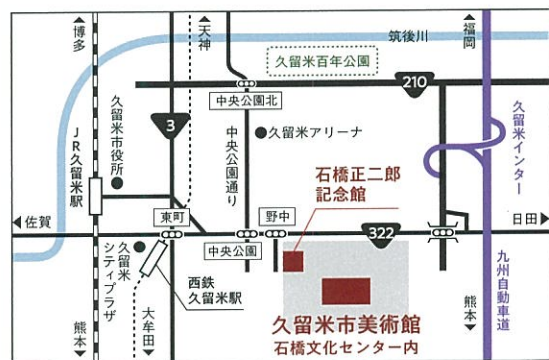
- 開館時間／10:00-17:00(入館は16:30まで) ○休館日／月曜日(ただし、8月9日は開館)
- 入場料／一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大学生500円(300円) 高校生以下無料

明治末から昭和にかけて日本洋画壇の中心作家として活躍した南薫造(1883-1950)は、東京美術学校卒業後にイギリスへ留学して清新な水彩画に親しみ、帰国後は陽光を捉えた明るい色彩とのびやかな筆致による油彩画を次々と発表、晩年は郷里の広島県呉市安浦町で愛する瀬戸内海の風景を描きました。本展は、現存する代表作とイギリス留学時代の水彩画などを含む、南薫造の画業の全貌を九州で初めて紹介するものです。



《六月の日》1912年 東京国立近代美術館

主催：久留米市美術館、NHK福岡放送局、NHKエンタープライズ九州、毎日新聞社
 後援：久留米市教育委員会、RKB毎日放送 制作協力：NHKプロモーション
 スペシャルパートナー：株式会社ブリヂストン
 オフィシャルパートナー：学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、
 喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー



- 福岡空港より西鉄高速バスで50分(文化センター前下車)
 - JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分(快速で40分)
 - 西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
 - JR久留米より西鉄バスで15分、西鉄久留米より5分(文化センター前下車)
 - 久留米インターより車で10分(石橋文化センター内に有料駐車場あり)
- ※おおよその時間で記しています。



久留米市美術館

KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015 TEL 0942-39-1131 FAX 0942-39-3134
https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam/